

■ 計画全体の枠組み

コア会議 資料 3

これからのまちづくりの方針・戦略

施策の方向性

目指す将来都市像

改訂の視点

『暮らしの価値を高めるために』

● 高齢化への対応

● 子育て環境の充実

● 安心・安全な暮らし

● 水とみどりの豊かな暮らし

● 暮らしを支える交通環境

● まちの活力と産業

まちづくりの課題に対する方針・戦略

- **今ある地域資源を活用し、高齢者が元気に活動する環境を整える**
 - 高齢者が元気に歩いて暮らせる自然を活かした環境づくり
 - 高齢者が集まる居場所づくり、活動を後押しする環境づくり
 - 高齢者が地域で生き看取られる安心で便利な地域づくり
- **若い世代・子育て世代の働き方・暮らし方を受け入れる環境を整える**
 - 子育て世代が地域とつながりを持てる交流の居場所づくり
 - 世代の枠を超えて子育てができる環境・地域づくり
 - 在宅ワークなど多様な働き方を選べる環境づくり
- **災害に備えて地域を知り、地域の防災力を向上する**
 - 自然災害に柔軟に対処できる防災計画づくり
 - 安心して暮らすための、地域住民主体の防災まちづくり
 - 老朽団地等の空きストックを地域資源と捉え活用するまちづくり
- **水と緑・農と共にある暮らしの価値を再確認し、まちづくりに活かす**
 - 水・緑・農、自然の価値の再確認と保全と活用の仕組みづくり
 - 日々の暮らしに水・緑・農のある環境づくり
 - 自然や農を活かした魅力ある場づくり
- **地域ニーズや地域の変化に応じて公共交通網を再編する**
 - 丘陵地等の不便区域における公共交通の再編
 - 地域ニーズ等に応じた公共交通の仕組みづくり
- **市の活力となる既存の産業をまちづくりに活かす**
 - 歴史・文化等の特性や地域ニーズに応じた3駅周辺のまちづくり
 - 工業系企業と連携し共存するまちづくり
 - 水・緑・農の魅力を活かしたにぎわいづくり
- **地域の暮らしを支える仕組みをつくる**
 - 高齢化等の進行する丘陵部等の暮らしを維持するまちづくり
 - 空き家や団地等の空きストックを活用したまちづくり
 - 地域コミュニティを支えあう仕組みづくり

まちづくり基本計画

〔基本方針〕

～分野～

- 1 記憶と文化を伝えるまちをつくる
 - 1-1 水と緑の保全
 - 水と緑の育成
 - 1-2 景観
 - 歴史・文化
 - 1-3 健康
 - 生涯学習
- 2 暮らしの舞台を支えるまちをつくる
 - 2-1 防災
 - 防犯
 - 2-2 生活環境
 - 基盤整備
 - 既存市街地
 - 維持管理
 - 2-3 新たな暮らし方
 - 住み続ける仕組み
 - 2-4 道路
 - 公共交通
 - 2-5 地域コミュニティ
 - 福祉
- 3 人々が活発に活動するまちをつくる
 - 3-1 商業
 - 観光
 - 3-2 工業
 - 新たな産業
 - 3-3 農地
 - 農業
 - 3-4 エリアマネジメント
 - コミュニティビジネス

今回追加する主要な事業・取り組み(案)

- 田園住居地域の指定(東光寺地区、西平山地区、川辺堀之内地区、新井地区、倉沢地区)
- 緑の担い手として民間主体を指定する制度の創設
- 歩きたくなるまちづくり計画の策定(回遊ネットワーク・サイクリングルートの整備、河川敷利用)
- 水辺等を活かした魅力ある公園の整備(農業公園、公園カフェ)
- 地域防災計画の改訂(避難所や防災活動拠点等の見直し、要介護者支援体制の構築)
- 立地適正化計画による災害危険度の高い斜面地等の居住規制
- 地域住民による防災体制の強化(事前復興計画の策定等)
- 農地と宅地が共存できる土地区画整理事業の推進(新井地区、倉沢地区)
- 空きストック等を活用した老朽団地の再生
- 子育て支援・交流スペース、在宅ワーク支援施設等の充実(空き店舗・空き教室等の活用)
- 多様な人と暮らしを受け入れるシェアハウスや民泊等の適切な立地誘導
- 地域公共交通総合連携計画の改訂(バス路線の拡充、ミニバス・ワゴンタクシーの運行効率化、デマンド交通や地域ニーズに合った事業スキームの検討)
- 地域懇談会・アクションプランの推進
- 地域活動の拠点・サロンの整備(空き家・空き教室等の活用)
- ライフステージに応じて住み替えを促進する仕組みの検討
- 立地適正化計画による地域を支える生活支援機能の適切な誘導
- 大規模工場跡地など、土地利用について特別協議が必要な地域の明示
- 田園住居地域の指定
- 生産緑地要件の緩和による都市農地の保全
- 生産緑地内の直売所・農家レストランの設置
- 丘陵住宅地等における地区まちづくり計画策定・エリアマネジメントの推進
- 地域懇談会、テーマ別意見交換会の活動支援

「住宅都市・ベッドタウンに代わる将来都市像」
「暮らしの舞台として選ばれるまち」とは

元気な高齢者が、元気に活動できる、居場所のあるまち

ワーキングママが地域とつながり、気持ちよく子育てができる環境のあるまち

自然と共存しながら、地域の支え合いで、安心安全に暮らせるまち

水と緑と農の、価値ある暮らしを地域住民で支え、楽しめるまち

地域の高齢化に応じて、住民が公共交通を選び、育てられるまち

多様な働き方、多様な暮らし方が、地域の中でいつまでもできるまち

豊かな自然の中で
仕事を続けながら
子育てをしながら
いつまでも元気で
仲間とつながり
暮らせるまち

※上記取り組み案には、テーマ別意見交換会での参加者の皆さんからの意見が含まれています。

（旧） 施策体系		
3つの基本方針	中分類	小分類
基本方針1 日野の記憶と文化を伝えるまちをつくる	1－1. 水音と土の香りがするまちをつくる	(1)骨格的な緑地構造の保全と継承
		(2)緑と水のネットワークの形成
		(3)市民団体やボランティアの育成とネットワーク化
	1－2. 日野人・日野文化を育むまちをつくる	(1)日野の景観の作法をつくる
		(2)日野の風土と歴史の積み重ねを大切にしたい景観をつくりあげる
		(3)先人の足跡を今に伝える歴史の文脈を地域の景観に取り込む
	1－3. 市民一人ひとりの心と体の健康を育むまちをつくる	(1)自らの健康を自らでつくるまちをつくりあげる
		(2)市民が生涯を通じて自らの心を磨く場と機会をつくる

●（３）市民参画に関する内容を（１）と（２）に入れ込む

●景観の施策を１本化する

新たに項目を建てた部分 ※下線は表現等を修正した箇所

（新） 施策体系			
3つの基本方針	中分類	分野	小分類
基本方針1 記憶と文化を伝えるまちをつくる	1－1. 水音と土の香りがするまちをつくる	水と緑の保全	(1)骨格的な緑地構造の保全と継承
		水と緑の育成	(2)緑と水のネットワークの形成
	1－2. 日野人・日野文化を育むまちをつくる	景観	(1)日野の風土と歴史を活かした景観の形成
		歴史・文化	(2)歴史を活かしたまちづくりの推進
	1－3. 水と緑の自然の中で心と体の健康を育むまちをつくる	健康	(1)自らの健康を自らでつくる環境の整備
		生涯学習	(2)生涯を通じて学び、スポーツができる機会の充実

←法改正に伴う公園緑地等の新たな施策を追加する

←「歩きたくなるまちづくり」に関する施策を追加する

基本方針2 暮らしの舞台を支えるまちをつくる	2－1. 心地よく、住み続けられる住まいづくりを進める	(1)成熟した住まいに磨きをかける
		(2)孫が住みたいと思う環境をつくりあげる
		(3)安心して住み続けられる住まいをつくる
		(4)日野の自然環境の保全・継承を基本とした都市基盤整備を進める
	2－2. たくさんの人・モノ・情報が交差するまちをつくりあげる	
		(5)終の住まいとしての仕組みをつくりあげる
	2－3. 一人ひとりが個性を輝かせ、それを認めあい、地域で 支え合う環境をつくりあげよう	(1)人・もの・情報がスムーズに行き交うような道路網をつくらう
		(2)公共交通機関を使って市内のどこにでも行ける環境をつくらう

●2-1を「安心」「住環境」「多様な暮らし方」の3つに分割して整理する

●「安心」の項目に「防災」を新規に立てる

●「住環境」は「基盤整備」「既成市街地」「維持管理」に分割して整理

基本方針2 暮らしの舞台を支えるまちをつくる	2－1. 安心して住み続けられるまちづくりを進める	防災	(1)災害に強いまちづくりの推進
		防犯	(2)犯罪や事故が起こりにくい環境の整備
		生活環境	(3)環境負荷の少ない、自然に配慮したまちづくりの推進
	2－2. 地域の特性を活かした、持続可能なまちづくりを進める	基盤整備	(1)人口減少社会を見据えた、長期的なまちづくり政策の検討
		既成市街地	(2)成熟した既存住宅地の維持・改善
		維持管理	(3)成熟した都市基盤を守り支える維持管理の推進
	2－3. 多様化する暮らし方を選択し、実現できるまちづくりを進める	新たな暮らし方	(1)希望する働き方や暮らし方ができる環境の整備
		住み続ける仕組み	(2)ライフステージに合わせて選択できる多様な住まいの提供
	2－4. たくさんの人・モノ・情報が交差するまちをつくりあげる	道路	(1)人・もの・情報がスムーズに行き交う道路網の充実
		公共交通	(2)暮らしを支える公共交通網の充実
	2－5. 一人ひとりが個性を輝かせ、それを認めあい、地域で 支え合う環境をつくりあげる	地域コミュニティ	(1)地域コミュニティの継続支援
		福祉	(2)地域コミュニティが中心となる福祉対策の推進

←「防災」と「防犯」を分けて特出しする

←空き家対策等、人口減少社会を見据えたまちづくりの施策を追加する

←「住工共存」「大規模団地更新」など、既存住宅地の維持・改善に関する施策とする

←「公共施設の維持管理」を含む。

←子育て環境の充実や、新たなライフスタイルの実現に向けた施策を特出しする。

←新たな暮らし方につながる住宅の提供や、住み続ける仕組みづくりを施策とする

←「地域包括ケア」や「在宅介護・医療」等の福祉施策を含む。

基本方針3 仕事を育むまちをつくる	3－1. ライフスタイルに合わせて、楽しく買い物しよう	(1)ライフスタイルに合わせて自由に買い物しよう
	3－2. 日野のまちづくりと共に歩んできた産業とこれからも共に歩んでいこう	(1)工業が活性化できるまちづくりを進める
		(2)住宅都市の特性を活かした新たな産業の育成を進める
	3－3. とれたての作物を食べよう	(1)とれたての作物を作っている農地とその周辺環境を守る

●「観光」の施策を新規に立てる

●「活動」として、「エリアマネジメント」や「コミュニティビジネス」の施策を新規に立てる

基本方針3 人々が活発に活動するまちをつくる	3－1. 買い物やレクリエーションなど毎日の暮らしを楽しめるまちをつくる	商業	(1)ライフスタイルに合わせて自由に買い物ができる環境の整備
		観光	(2)内外から人が集まりにぎわう拠点づくりの推進
	3－2. 日野のまちづくりと共に歩んできた産業とこれからも共に歩む	工業	(1)工業を活性化するまちづくりの推進
		新たな産業	(2)住宅都市の特性を活かした新たな産業の育成
	3－3. 農のある暮らしを次世代へつなげる	農地	(1)とれたての作物を作っている農地とその周辺環境の維持
		農業	(2)生産者と消費者とが協力して次世代へつなげる農業の確立
	3－4. 一人ひとりが地域を支えるまちづくりを進める	エリアマネジメント	(1)地域の魅力や価値の維持・向上
		コミュニティビジネス	(2)地域資源や人材を活かしたコミュニティビジネスの創出

←今後の土地利用が不透明な工場跡地等のついで記述を含む

←法改正に伴う農地の保全・活用に関する新たな施策を追加する